

シンガポール島津製作所が MJIT 訪問

2月11日に島津製作所（アジアパシフィック）シンガポール社井村公信氏他、が MJIT を訪問しました。島津製作所は、みなさん理系の人たちにご存知のことと思いますが、とくに分析・計測機器の大手で医用機器、航空機器にも強く、半導体・液晶関連、バイオ・環境を育成している日本の代表的な企業です。訪問者は、井村公信執行役員、郡山健吾アシスタントマネージャー、フィシャーサイエンティフィック社スタンレー・タン氏です。MJIT 側は、池田章一郎教授、後藤雅史教授、原啓文准教授そして杉浦則夫教授が対応しました。訪問の目的は、施設整備状況の見学と協力推進について検討するためです。MJIT の組織・概要は、杉浦が、学生共通機器分析室、環境グリーン分野の研究室は原准教授がそれぞれ案内・説明を行いました。

今後、島津製作所側では、機器分析や機器類の管理の方法などで学生の研修の受け入れを具体的に検討することになりました。



左から原啓文准教授、後藤雅史教授、池田章一郎教授、井村公信執行役員
杉浦則夫教授、郡山健吾アシスタントマネージャー、
スタンレー・タン マネージャー